

IRプレゼンテーション資料

2019年 3月

みんなを「つなぐ」と
未来はもっと明るく楽しい

トータル ICT ソリューションで、人と人、人と社会をつなぎ、
笑顔あふれる未来の実現に貢献します。

株式会社 協和エクシオ

1. 会社紹介	… 2	3. M&A戦略	… 26
（1）社長プロフィール	… 2	（1）狙いと成長イメージ	… 26
（2）沿革	… 3	（2）事業領域別の展開イメージ	… 27
（3）事業概要	… 4		
（4）グループ体制・拠点	… 8	4. ESGの取組み	… 28
（5）近年の業績推移	… 9	（1）主な取り組み	… 28
（6）西日本3社との経営統合	… 10		
2. 2018年度 3Q実績および通期計画	… 11	5. 株主価値の向上	… 29
（1）概況	… 11	（1）株主還元施策（期末配当予想の修正等）	… 29
（2）受注高	… 12	（2）2018年度株主還元計画等	… 30
（3）売上高	… 13		
（4）営業利益	… 14	<補足資料>	… 31
（5）NTTグループ（アクセス、ネットワーク）	… 15		
（6）NTTグループ（モバイル）	… 16		
（7）NCC	… 17		
（8）都市インフラ	… 19		
（9）システムソリューション	… 20		

1. 会社紹介

(1) 社長プロフィール



小園 文典

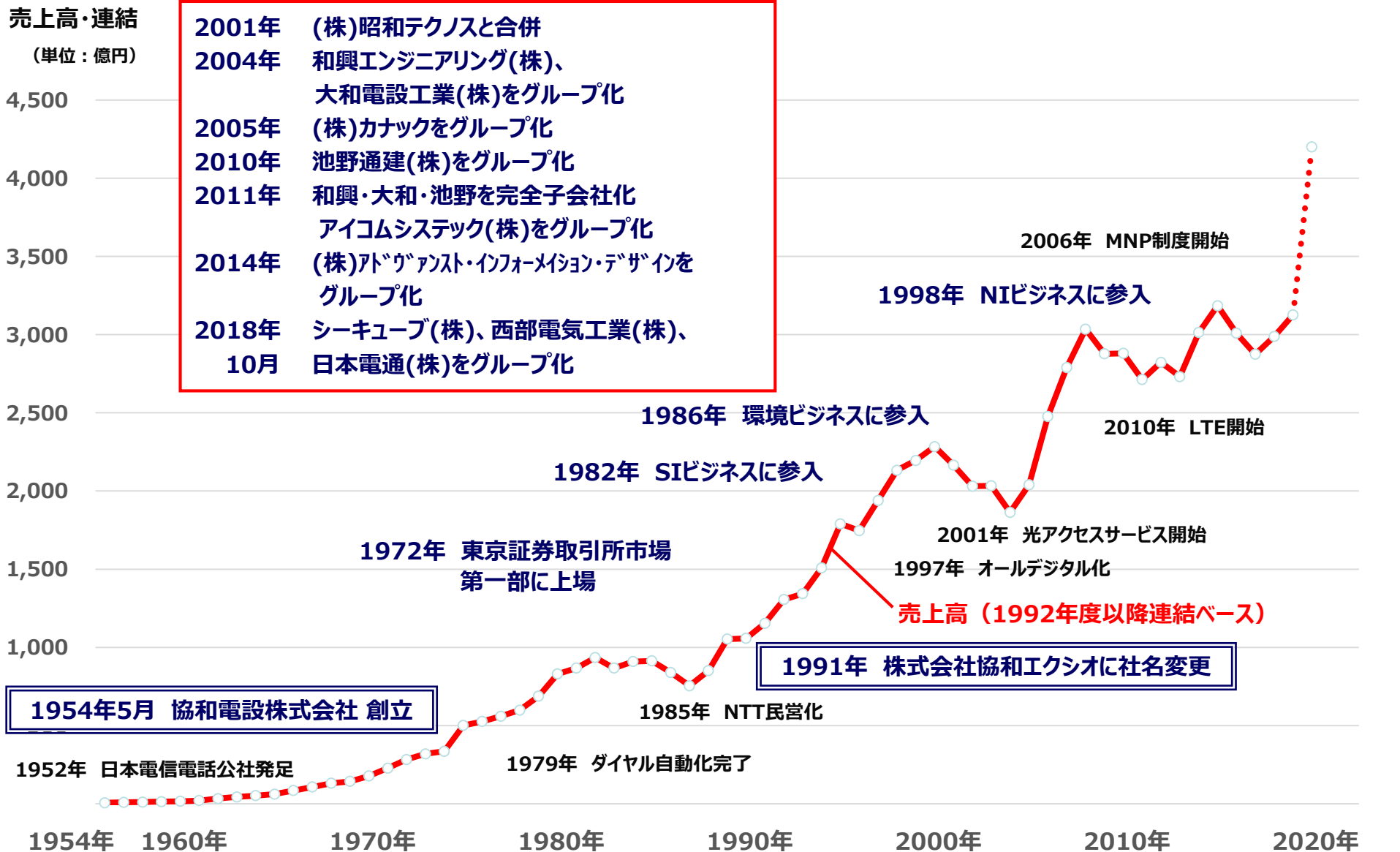
出身地 鹿児島県
最終学歴 1975 九州大学 工学部 電気工学科 卒業

職歴

1975 日本電信電話公社入社
1999 同社 福島支店長
2005 東日本電信電話株式会社 取締役ビジネスユーザ事業推進本部 副本部長
2007 同社 常務取締役ネットワーク事業推進本部 副本部長
2008 同社 代表取締役副社長 ネットワーク事業推進本部長
エヌ・ティ・ティ・ベトナム株式会社 代表取締役社長（兼務）
2009 東日本電信電話株式会社 代表取締役副社長 ビジネス&オフィス事業推進本部長
2012 当社 代表取締役副社長 ビジネスソリューション事業本部長
2013 当社 代表取締役社長

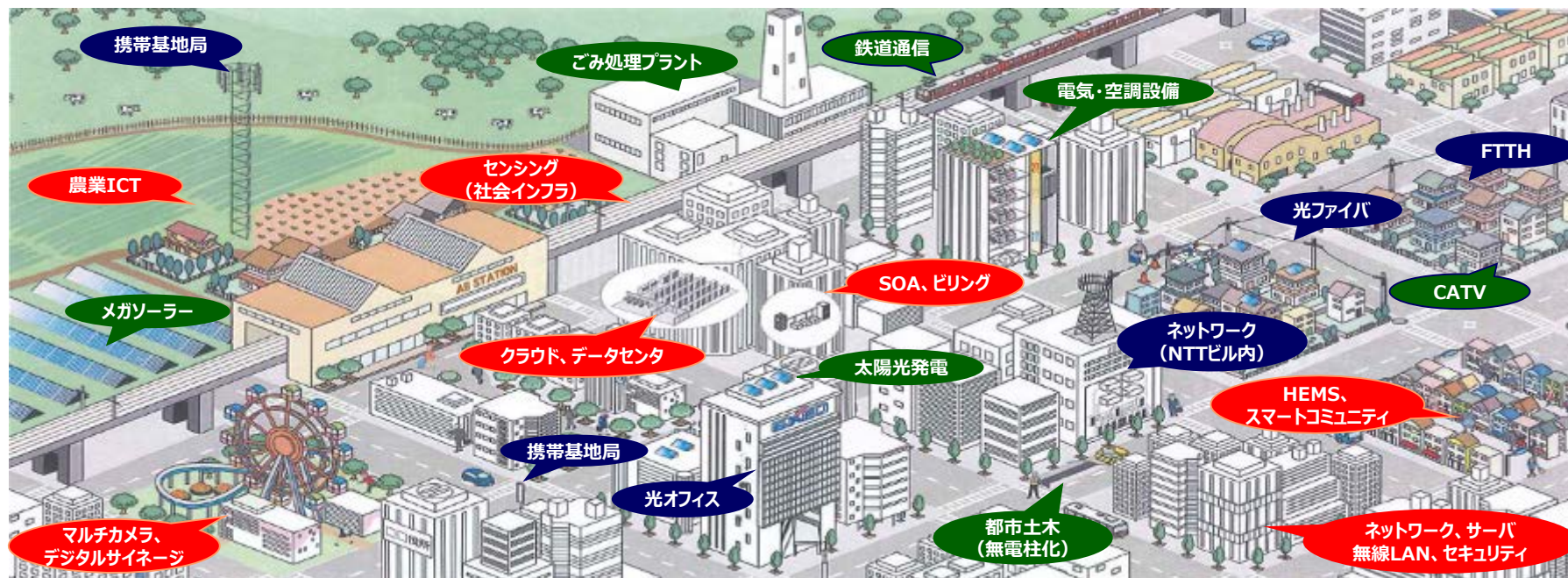
1. 会社紹介

(2) 沿革

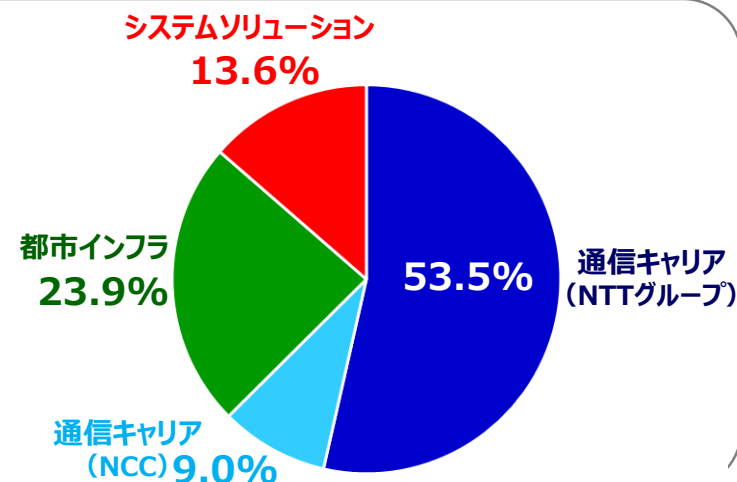


1. 会社紹介

(3) 事業概要



セグメント			売上高 (2018年3月期連結)
エンジニアリング ソリューション	通信キャリア	NTTグループ	1,674億円
		NCC	281億円
	都市インフラ		745億円
システムソリューション			425億円
合 計			3,126億円

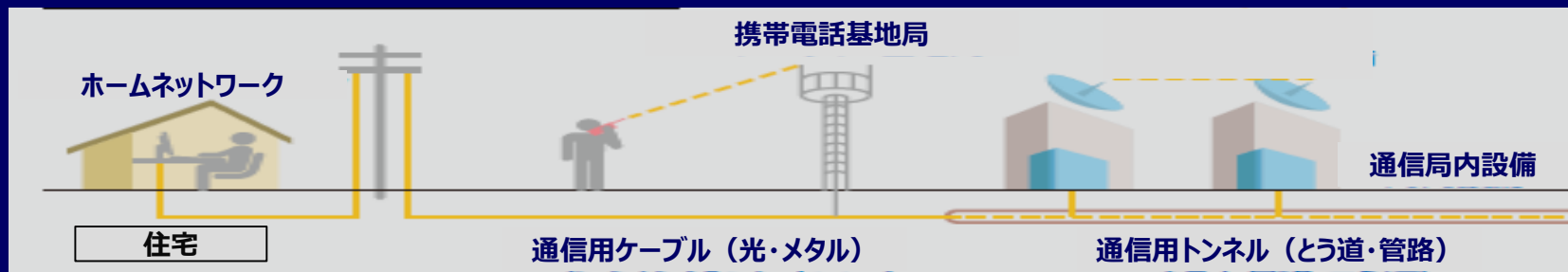


1. 会社紹介

(3) 事業概要－通信キャリア

◆ 創立以来、半世紀以上にわたって培ってきた当社のコア事業

- ・NTTグループ … NTTグループ各社の各種通信インフラ設備の構築・保守
- ・NCC … NCC向けの各種通信インフラ設備の構築・保守



【アクセス】



光ファイバ・ケーブル敷設工事、
FTTH工事、通信土木工事

【ネットワーク】

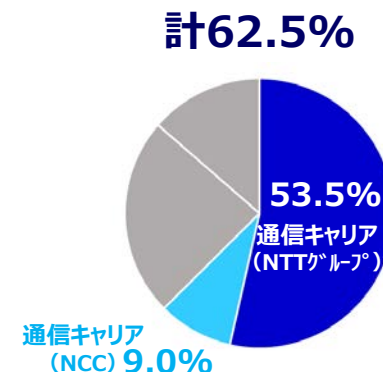


電話局内の交換機・
ルータ・サーバ設置工事、
付帯電気・空調工事

【モバイル】



屋外・屋内の携帯電話
基地局工事



(3) 事業概要－都市インフラ

◆ 通信キャリアで培った通信・電気・土木技術を活かし、暮らしやすい社会の実現に貢献

- ・自治体、官公庁、CATV会社、鉄道会社、民間企業向けの各種通信インフラ設備の構築・保守
- ・太陽光発電、バイオマスボイラ等の再生可能エネルギー関連工事
- ・オフィスビル、マンション、データセンタ等の電気・空調工事
- ・無電柱化を中心とした都市土木工事
- ・水処理、廃棄物処理プラント等の建設・運転維持管理

【道路通信工事】



【再生可能エネルギー】



【電気・空調工事】



【都市土木工事】

(施工前)

無電柱化

(施工後)

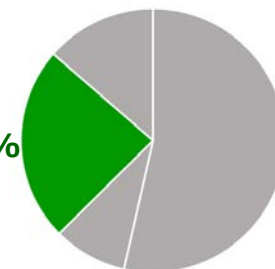


【水処理・廃棄物処理プラント】

ごみ処理プラント



23.9%



(3) 事業概要－システムソリューション

◆ NI、SI分野でICTを活用したトータルソリューションを提供

- ・ネットワークインテグレーション (NI) … サーバ、無線LAN、セキュリティ、クラウド、G空間、EMS、センシング等のネットワークソリューション・サービスの提供
- ・システムインテグレーション (SI) … SOA、ビルディング、通信・金融向け等のシステムソリューション・サービスの提供
- ・グローバル … 海外の各種通信インフラ設備の構築・保守、ネットワークソリューションサービスの提供

【ネットワークインテグレーション】



カスタマサービスセンタ

【システムインテグレーション】



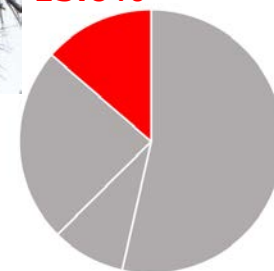
企業向けシステム構築事例の講演

【グローバル】



フィリピンの光アクセス工事

13.6%



1. 会社紹介

(4) グループ体制・拠点

■ グループ体制 (2019.3.1現在)

協和エクシオ (単体売上高 2,568億円)

主要グループ会社 (5社)

シーキューブ
(売上高598億円)

西部電気工業
(売上高541億円)

日本電通
(売上高378億円)

エクシオテック
(売上高201億円)

大和電設工業
(売上高127億円)

その他の連結グループ会社 (67社) 以下、主な会社

アクセス系

新栄通信／サンクレックス／フジ電設／エコス北栄
三協テクノ／カナック／ケイ・テクノス

土木系

エクシオインフラ／インフラテクノ

ネットワーク系

エクシオネットワーク

モバイル系

エクシオモバイル／東邦通信／ユウアイ通建
協栄電設工業／電盛社

IT系

アイコムシステック／アクレスコ
アドヴァンスト・インフォメーション・デザイン

その他

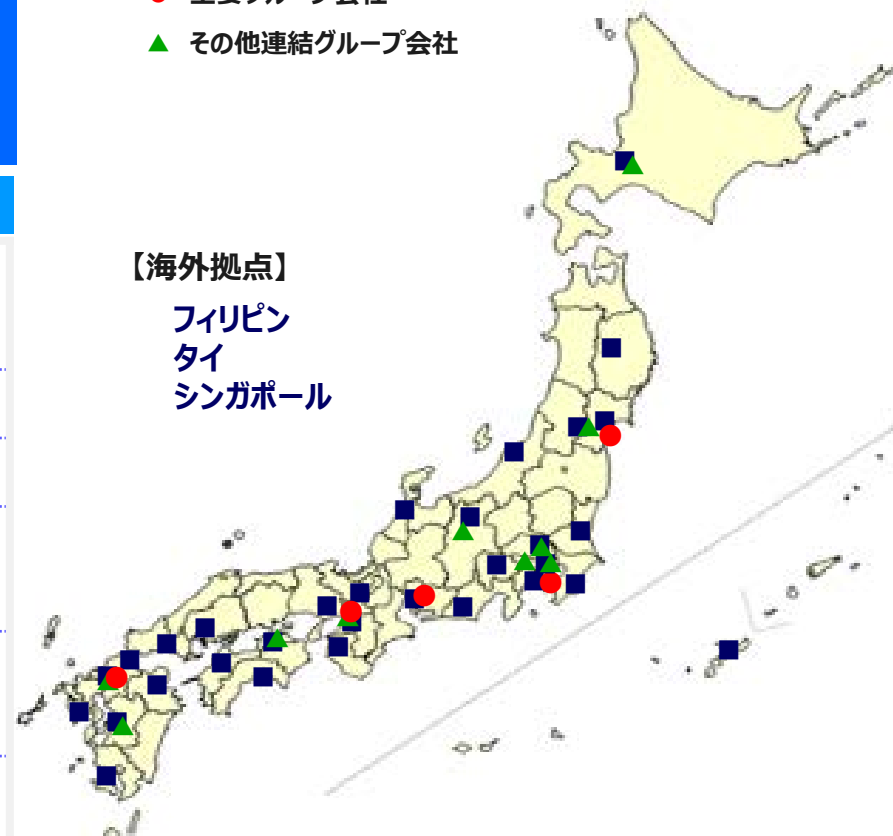
キステム／キョクヨウ／新和製作所／エクシオ物流サービス
エクシオビジネス／MGエクシオ／コーケン／LAEグループ

■ 拠点

- 本支店・営業所
- 主要グループ会社
- ▲ その他連結グループ会社

【海外拠点】

フィリピン
タイ
シンガポール

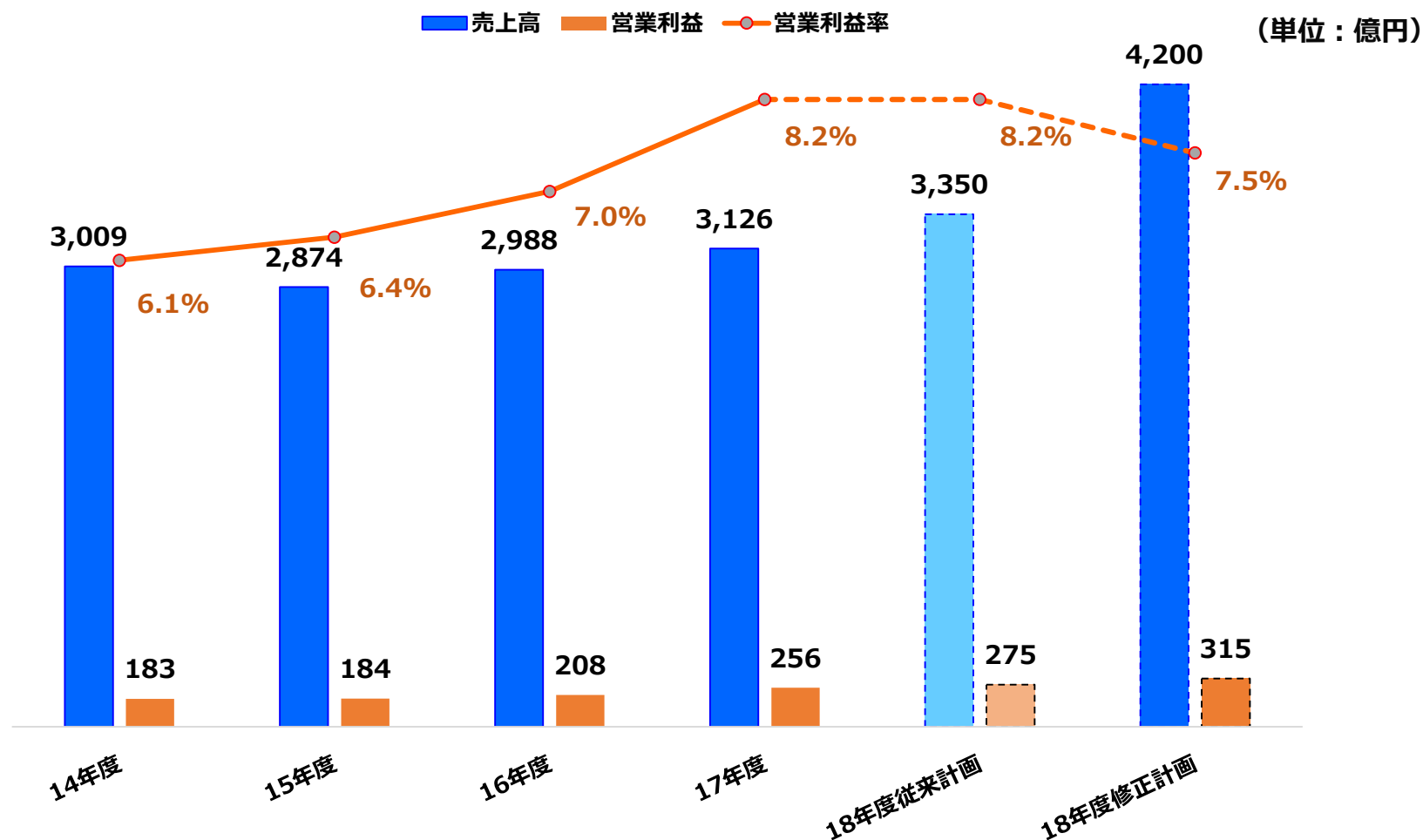


(注) 各社の売上高は2018年3月期実績です。

1. 会社紹介

(5) 近年の業績推移

- ◆ 通信キャリア事業は堅調で、都市インフラやシステムソリューションの売上高が伸びている
- ◆ 施工効率の向上や各種効率化施策の推進により、3期連続で最高益の更新を狙う



1. 会社紹介

(6) 西日本3社と経営統合

◆ 2018年10月1日付で、シーキューブ(株)、西部電気工業(株)、日本電通(株)と経営統合

■ 経営統合の目的

全国ワンストップ施工体制のさらなる強化を図り、各社の保有する経営資源や顧客基盤等を効率的に活用し、シナジー効果を発揮して企業価値のより一層の向上を図る

■ 各社の概要

商号	 シーキューブ株式会社	 西部電気工業株式会社	 日本電通株式会社 でんわ&コンピュータ
創立年月日	昭和29年5月14日	昭和22年7月3日	昭和22年10月22日
資本金	41億円	16億円	14億9,393万円
代表者	社長：橋本 渉	社長：熊本 敏彦	会長兼社長：上 敏郎
本社所在地（地番省略）	愛知県名古屋市中区門前町	福岡県福岡市博多区博多駅東	大阪府大阪市港区磯路
事業内容	通信建設事業 情報サービス事業	情報通信工事業 ソリューション事業 その他	通信設備エンジニアリング事業 ICTソリューション事業
連結売上高（2018年3月期）	598億円	541億円	378億円
連結従業員数(2018年3月末)	1,916名	1,268名	909名

2. 2018年度 3Q実績および通期計画

(1) 概況

- ◆ 経営統合により受注高・売上高は前期比で大幅増
- ◆ 第3四半期で経営統合による負ののれんを一括で特別利益に計上

■ 業績（連結）

（単位：億円）

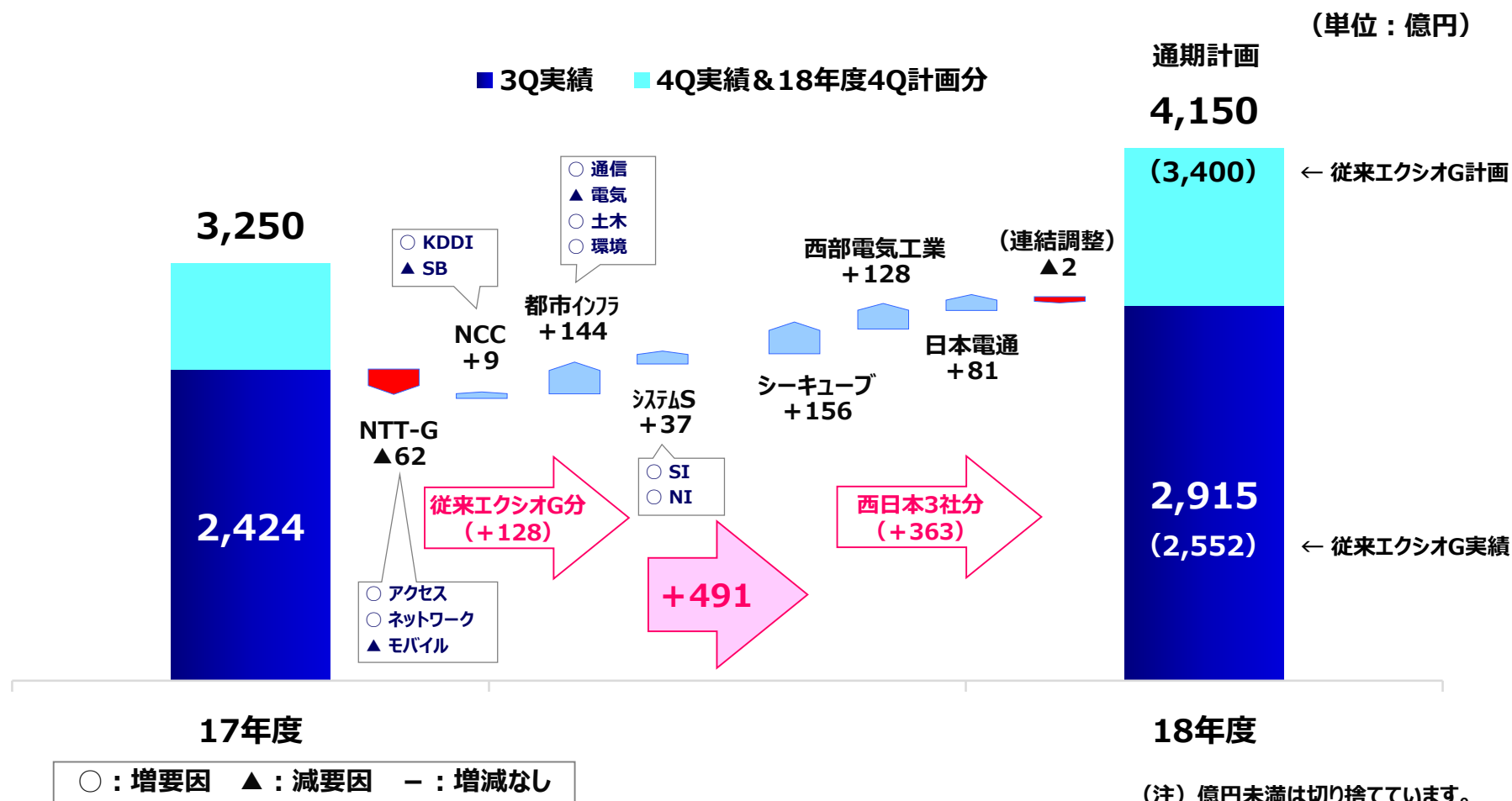
	18.3期(17年度)		19.3期(18年度)				
	第3四半期 累計期間 A	通 期 B	第3四半期累計期間			通 期	
			実 績 C	前期比 C/A	対通期計画 進捗率 C/D	修正計画 (18年11月6日発表) D	前期比 D/B
受 注 高	2,424	3,250	2,915	120%	70%	4,150	128%
売 上 高	1,967	3,126	2,476	126%	59%	4,200	134%
売 上 総 利 益	(13.5%) 266	(13.9%) 433	(13.3%) 329	124%	59%	(13.3%) 560	129%
販 管 費	(6.5%) 127	(5.7%) 177	(6.9%) 171	135%	70%	(5.8%) 245	138%
営 業 利 益	(7.1%) 139	(8.2%) 256	(6.4%) 158	114%	50%	(7.5%) 315	123%
経 常 利 益	(7.6%) 149	(8.5%) 264	(7.0%) 174	117%	54%	(7.7%) 325	123%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(5.0%) 97	(5.8%) 179	(12.4%) 306	313%	73%	(10.0%) 420	233%

（注）億円未満は切り捨てています。

2. 2018年度 3Q実績および通期計画

(2) 受注高

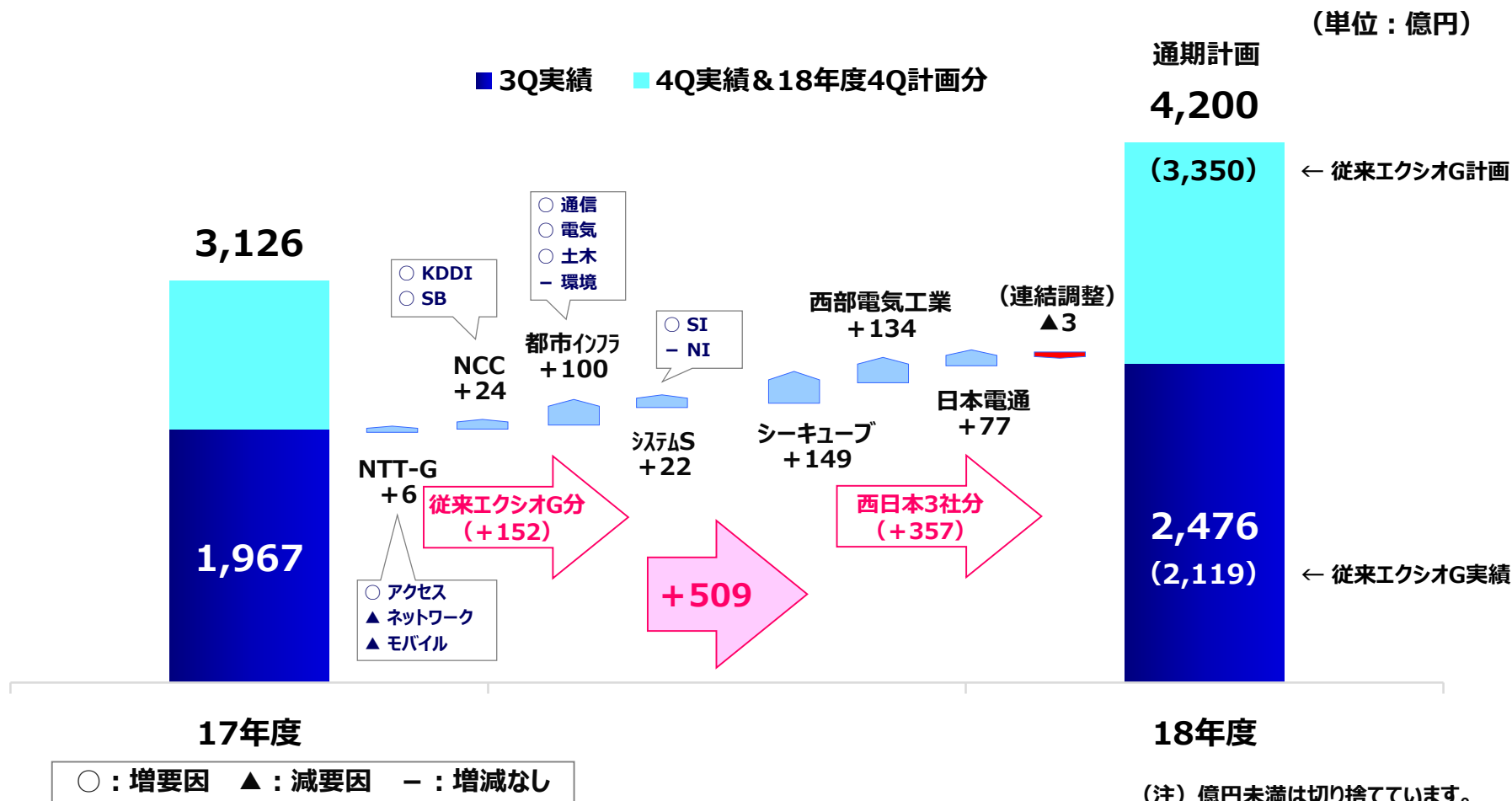
◆ 都市インフラが好調で前期比で大幅増となり、西日本3社も順調に推移



2. 2018年度 3Q実績および通期計画

(3) 売上高

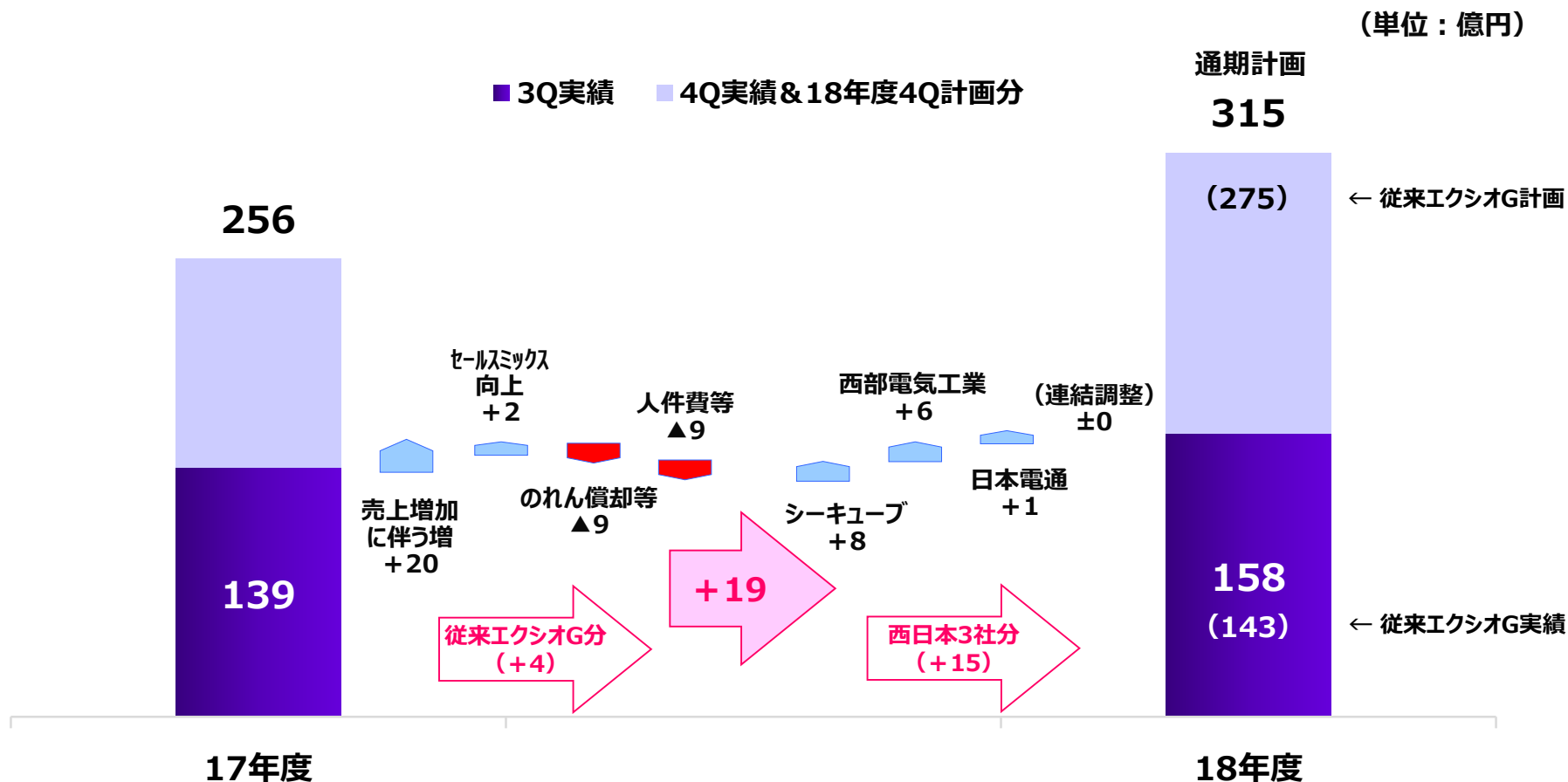
◆ 受注好調な都市インフラが売上も大きく伸ばし、西日本3社も順調に推移



2. 2018年度 3Q実績および通期計画

(4) 営業利益

◆ 売上増加に伴い販管費(人件費等)が増加するも、営業利益も順調に推移



(注) 億円未満は切り捨てています。

2. 2018年度 3Q実績および通期計画

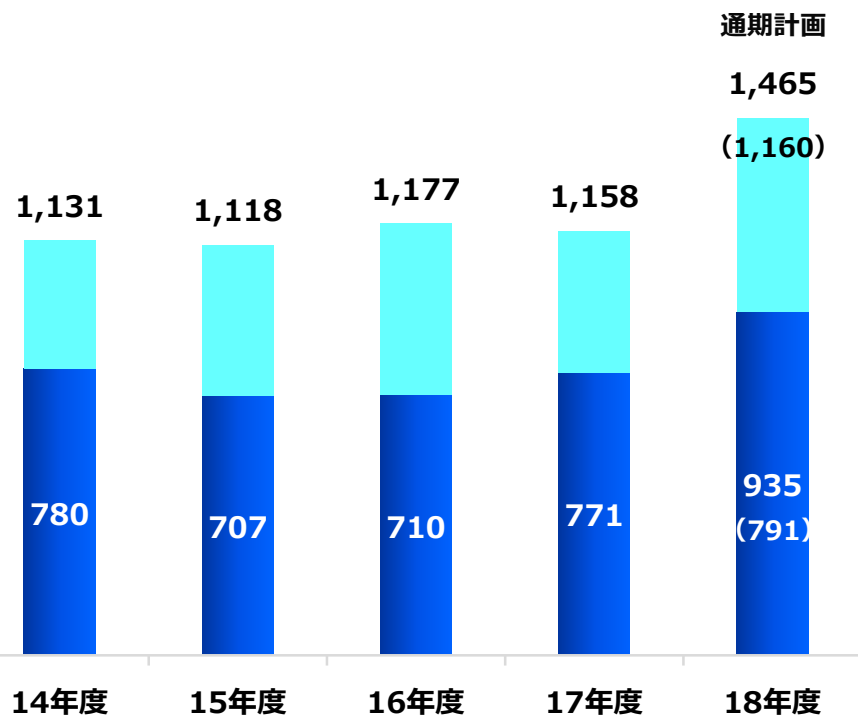
(5) NTTグループ（アクセス、ネットワーク）

- ◆ 光開通工事が好調、かつ災害復旧工事も増え順調に売上高が増加
- ◆ NTT東西は2023年1月末でADSLサービスを終了すると発表。今後光化投資に期待

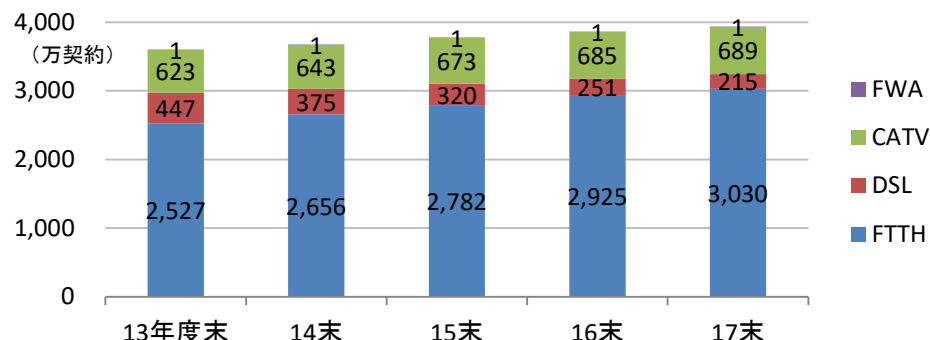
■ NTTグループ（固定系）の売上高推移（連結）

（単位：億円）

■ 3Q実績 ■ 4Q実績&計画



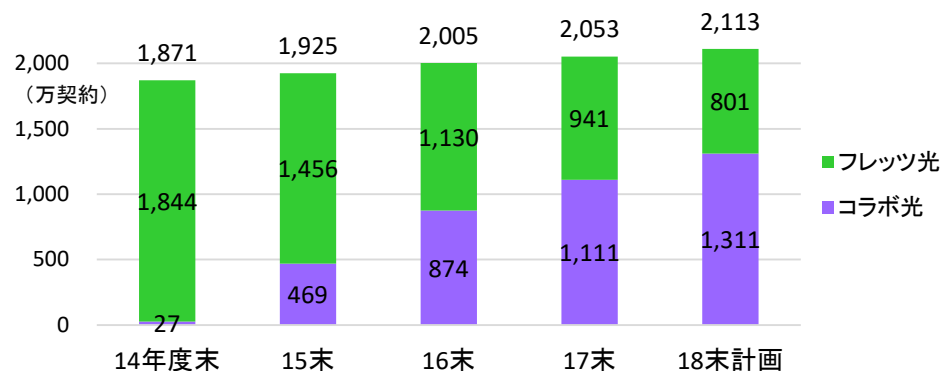
■ 固定系ブロードバンドの契約数



注）FWA:Fixed Wireless Access

（出所：総務省平成30年情報通信白書より当社作成）

■ NTTグループの固定ブロードバンド契約数



（出所：NTT発表資料より当社作成）

（ ）内は従来エクシオG実績&計画

2. 2018年度 3Q実績および通期計画

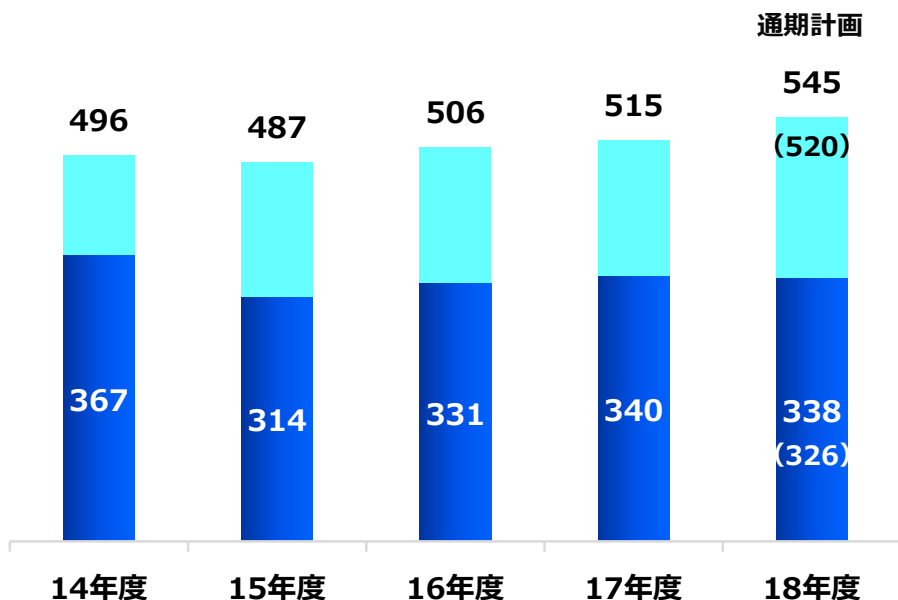
(6) NTTグループ (モバイル)

- ◆ 受注はやや低調だが、豊富な手持ち4G無線基地局工事の完成を促進
- ◆ 5G工事の受注に向けた施工体制の整備・強化を実施中

■ NTTグループ (モバイル) の売上高推移 (連結)

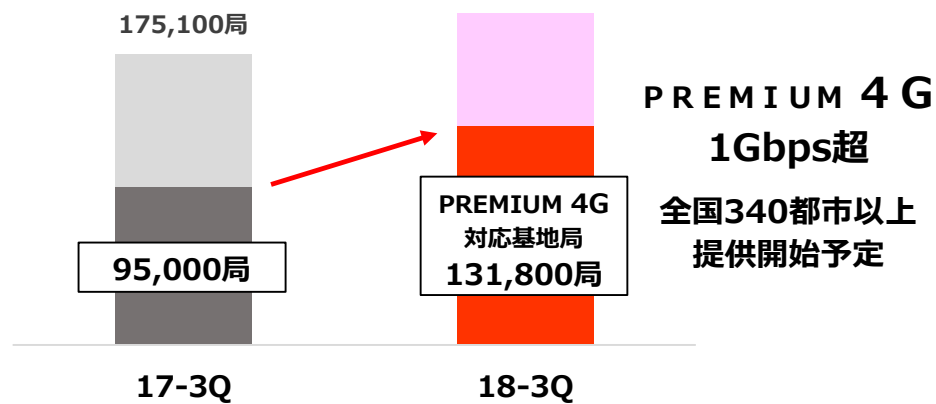
(単位：億円)

■ 3Q実績 ■ 4Q実績&計画

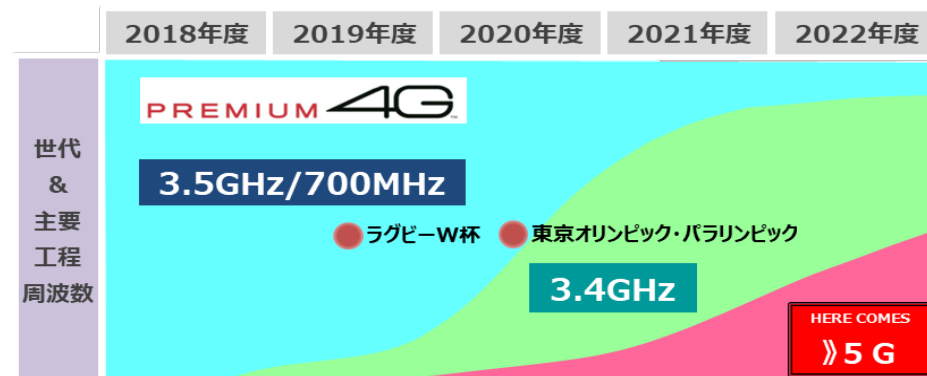


■ NTTドコモのLTE基地局数

199,500局 (出所：ドコモ発表資料より当社作成)



■ NTTドコモの主要工程イメージ (当社想定)



() 内は従来エクシオG実績&計画

2. 2018年度 3Q実績および通期計画

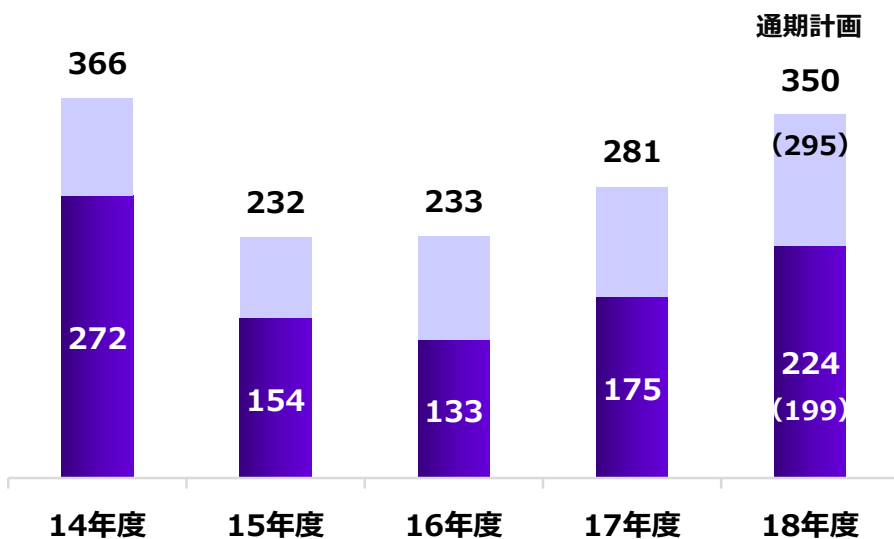
(7) NCC

- ◆ 2017年度から受注高・売上高ともに回復基調
- ◆ 4G新周波数の無線基地局工事および楽天からの受注がスタート

■ NCCの売上高推移（連結）

（単位：億円）

■ 3Q実績 ■ 4Q実績&計画



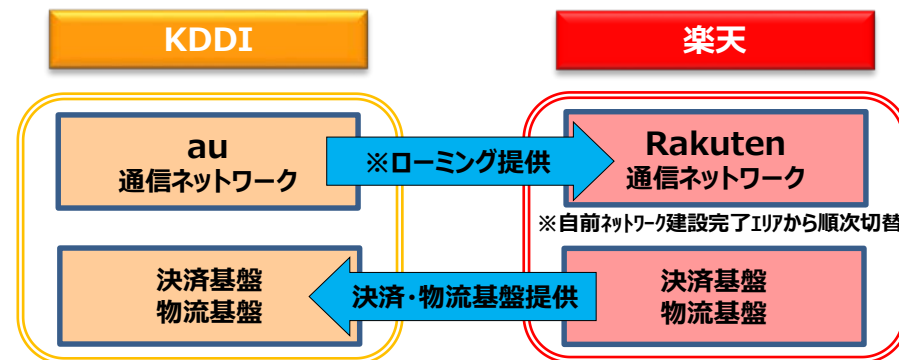
() 内は従来エクシオG実績&計画

■ 4G新周波数1.7G、3.4G基地局の開設計画数

KDDI 28,660局	2019年3月末サービスイン 2025年度末までの開設計画局数
ソフトバンク 23,167局	2020年3月末サービスイン 2022年度末までの開設計画局数
楽天 27,397局	2019年10月サービスイン 2025年度末までの開設計画局数

（出所：総務省総合通信基盤局資料より当社作成）

■ KDDIと楽天が提携を発表



（出所：KDDI発表資料より当社作成）

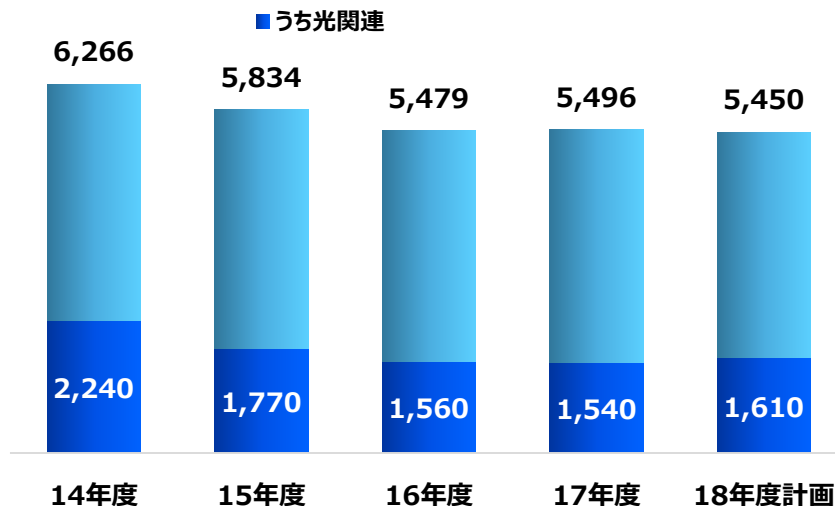
2. 2018年度 3Q実績および通期計画

＜参考＞ 主要通信キャリアの設備投資動向

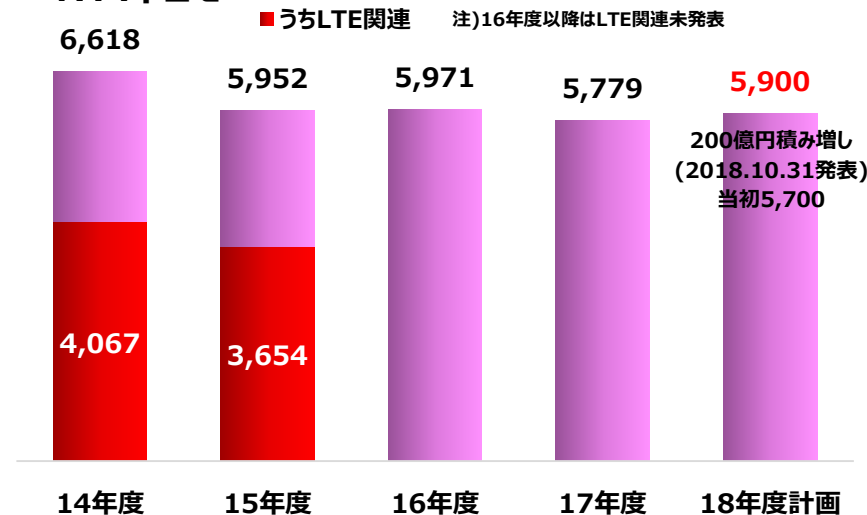
(出所：通信キャリア各社発表値)

(単位：億円)

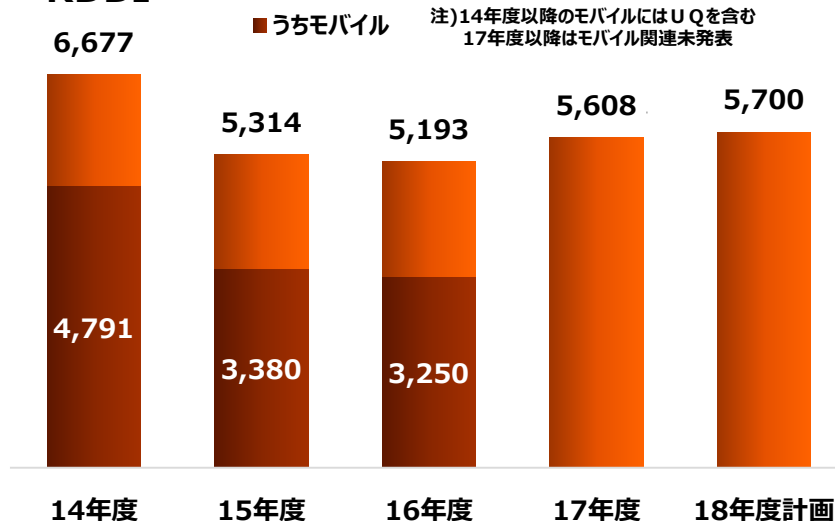
■ NTT東西



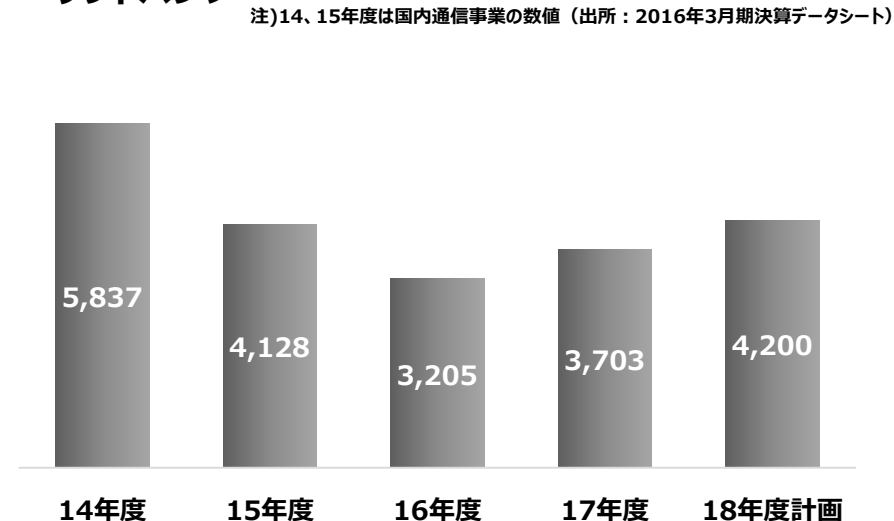
■ NTTドコモ



■ KDDI



■ ソフトバンク



2. 2018年度 3Q実績および通期計画

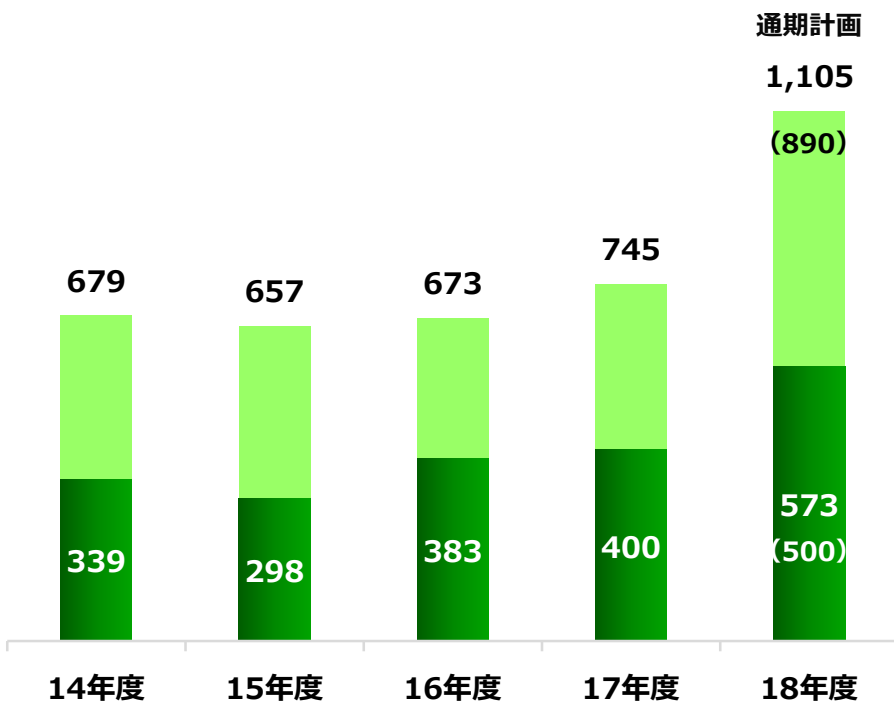
(8) 都市インフラ

- ◆ 700MHzテレビ受信対策工事は受注高・売上高ともに大幅増となりピークに突入
- ◆ セグメント全般的に受注が好調なことから、売上高も大幅増

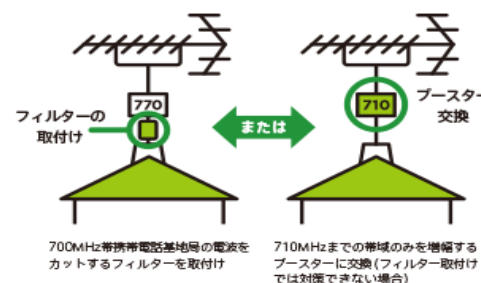
■ 都市インフラの売上高推移（連結）

（単位：億円）

■ 3Q実績 ■ 4Q実績&計画



■ 700MHzテレビ受信対策工事



当社施工エリア
関東・甲信越

（出所：一般社団法人700MHz利用推進協会HPより当社作成）

■ 無電柱化事業

（出所：国土交通省発表資料より当社作成）

国土交通省が発表した無電柱化推進計画（2018年4月発表）

- ◆ 推進計画の期間 2018年度～2020年度までの3年間
- ◆ 推進目標 注）④以外の()内は現在の無電柱化率 ⇒ 目標無電柱化率
 - ① 防災（都市部緊急輸送道路 34% ⇒ 42%）
 - ② 安全・円滑な交通確保（15% ⇒ 51%）
 - ③ 景観形成・観光振興（37% ⇒ 79%）
 - ④ オリンピック・パラリンピック関連（92% ⇒ 完了）電線共同溝整備率

以上の目標を達成するためには、約1,400Kmの無電柱化が必要

2. 2018年度 3Q実績および通期計画

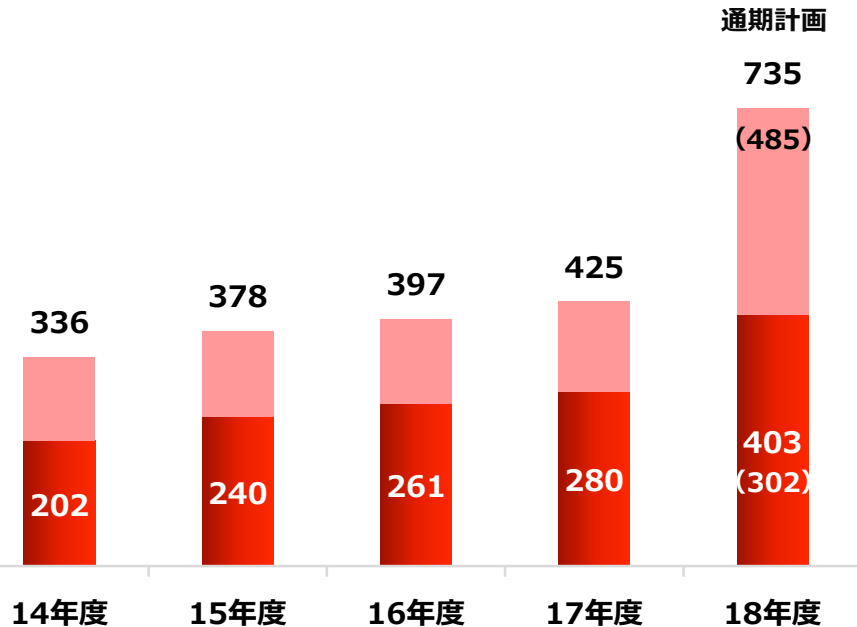
(9) システムソリューション

- ◆ 各ソリューションをRPAやクラウドなど最先端技術と融合させ付加価値拡大
- ◆ 新エネルギーやジオなど新ソリューションの拡大に引き続き注力

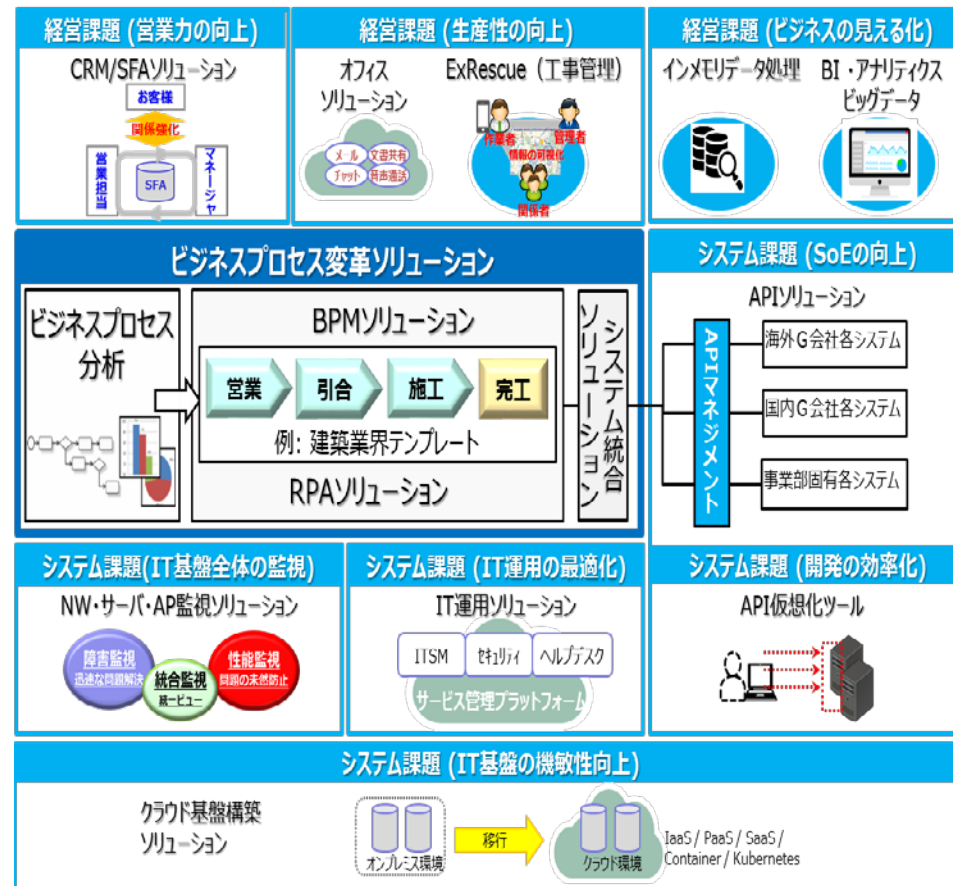
■ システムソリューションの売上高推移（連結）

（単位：億円）

■ 3Q実績 ■ 4Q実績&計画



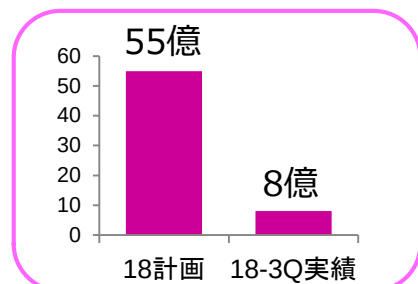
■ ソリューションマップ（付加価値拡大構想）



() 内は従来エクシオG実績&計画

2. 2018年度 3Q実績および通期計画

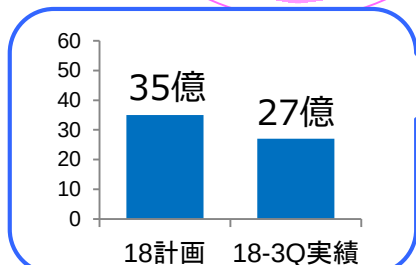
<参考> 新ソリューションの受注実績・今後の取組み



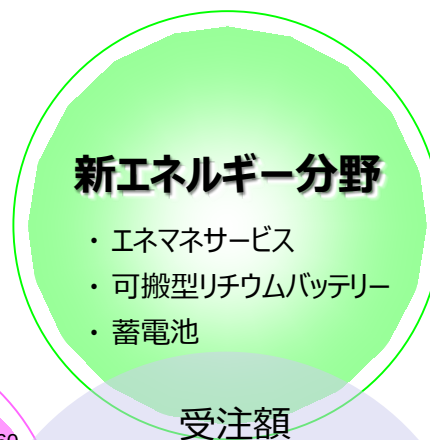
フィリピン事業、
タイ事業参画（合併会社
エクシオアジア設立）

グローバル

- ・国際プロジェクト
- ・国際事業投資等

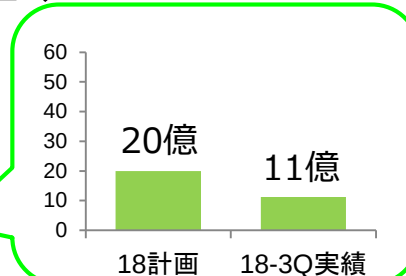


マイクロソフト社との連携によるクラウド総合エンジニアリング推進
ー企業コミュニケーション分野、IoT分野でのソリューション
ラインナップ拡充、Phone Appli社業務提携



新エネルギー分野

- ・エネマネサービス
- ・可搬型リチウムバッテリー
- ・蓄電池



エナジービューアー、サバイバル電源、
新電力向けユーティリティクラウド、HEMSなど

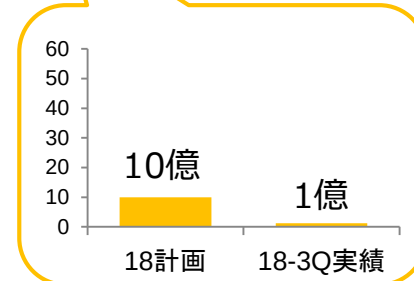


ジオソリューション 分野

- ・ビーコン（屋内測位インフラ/
センサーネットワーク）
- ・ガイドアプリ（観光・防災）

EXBeacon

（メッシュネットワーク機能を
搭載した次世代ビーコン）
⇒ 屋内測位インフラの
提供とセンサー網形成



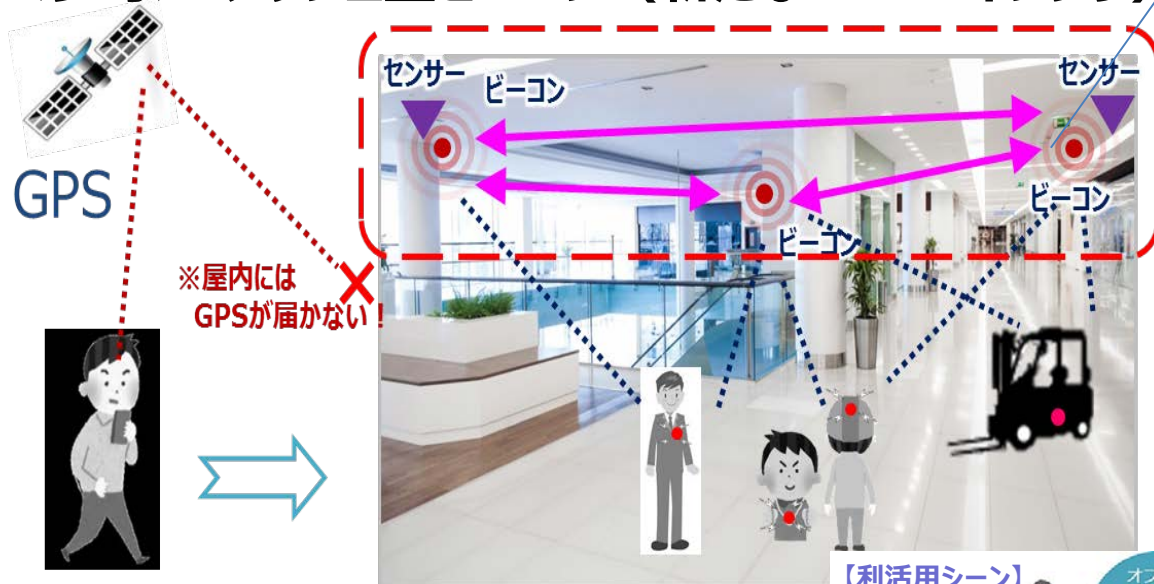
クラウド・ セキュリティ分野

- ・シンクラ・仮想化
- ・セキュリティ基盤
- ・M2M、IoT

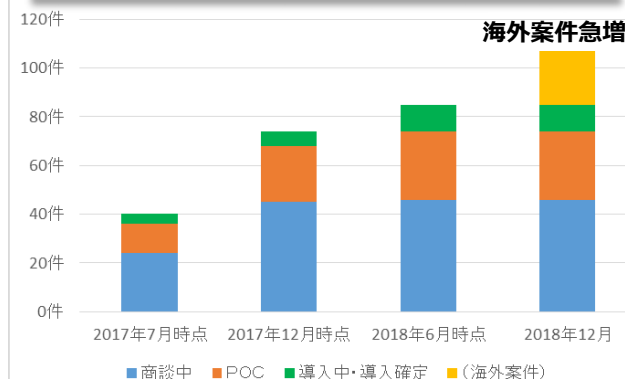
車庫証明電子化システム

2. 2018年度 3Q実績および通期計画

<参考> メッシュ型ビーコン（新たなIoTインフラ）クラウド



Bluetooth Meshの製品化 （国内最先端）

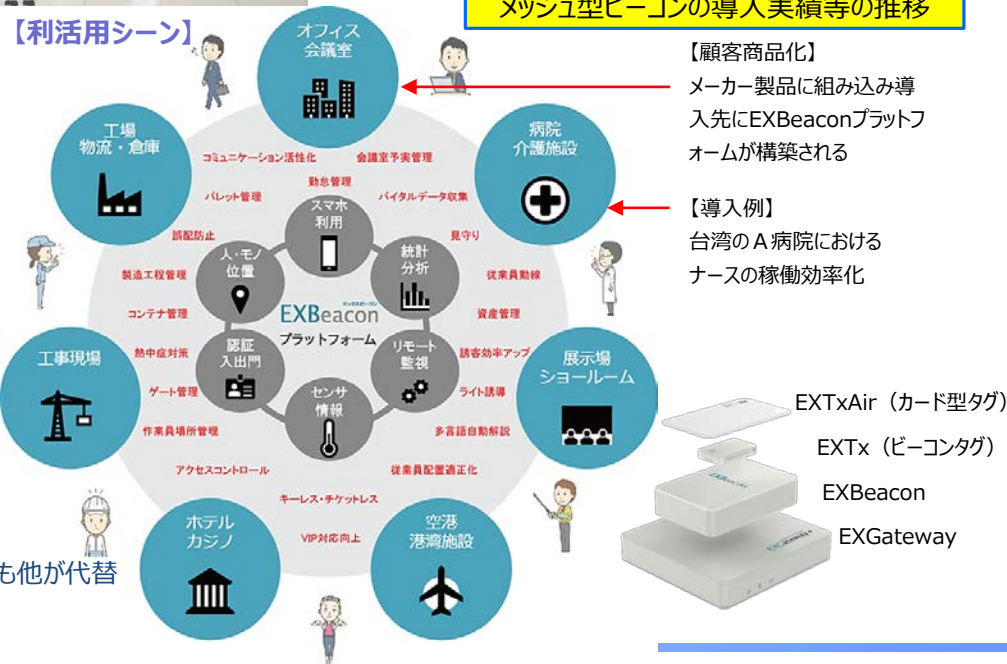


メッシュ型ビーコンの導入実績等の推移

「EXBeacon」は
3つのサービスを同時に提供



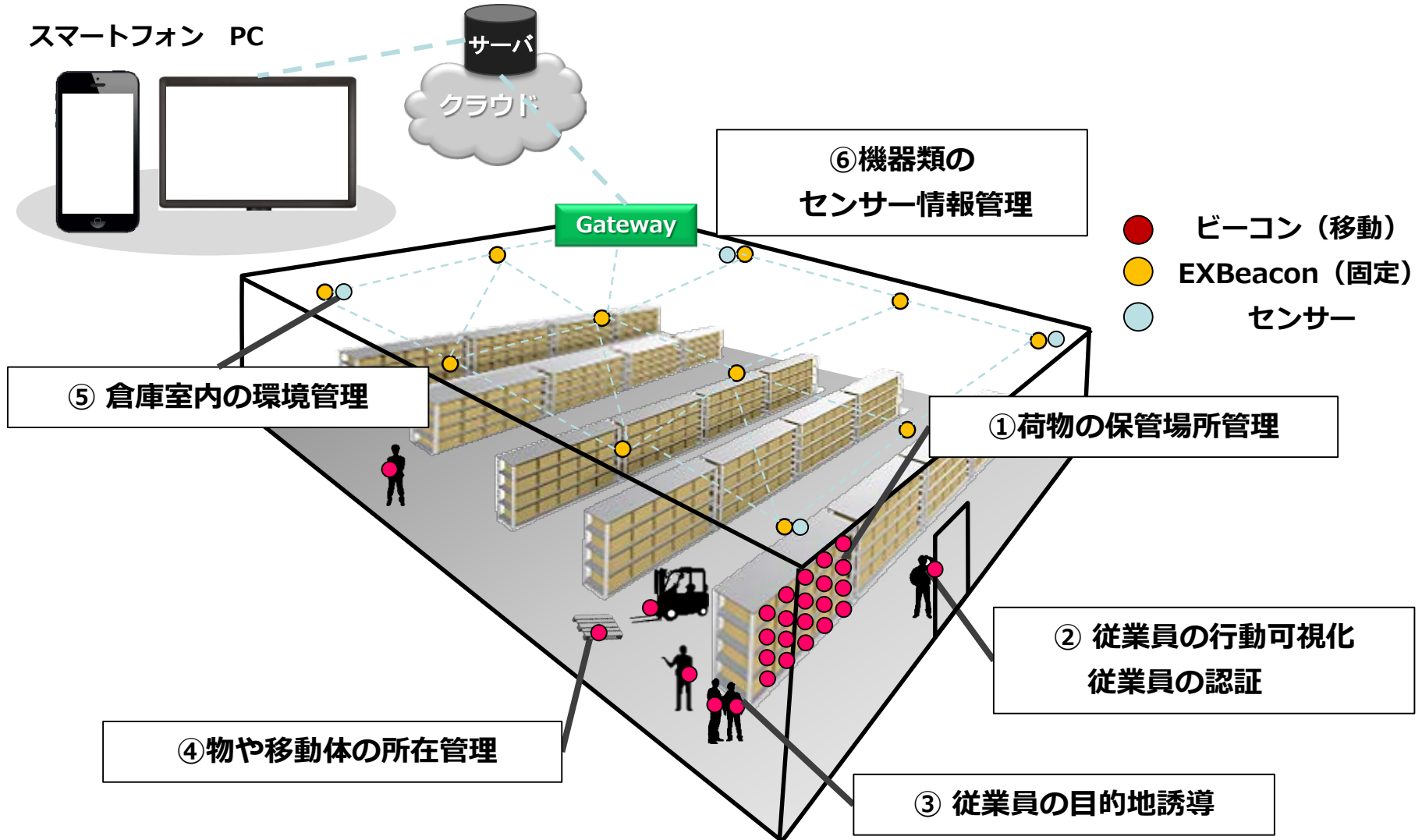
- ①高い冗長性：1つのビーコンが壊れても他が代替
- ②設置が簡単：配線が不要



A社様 工場内の導入写真

2. 2018年度 3Q実績および通期計画

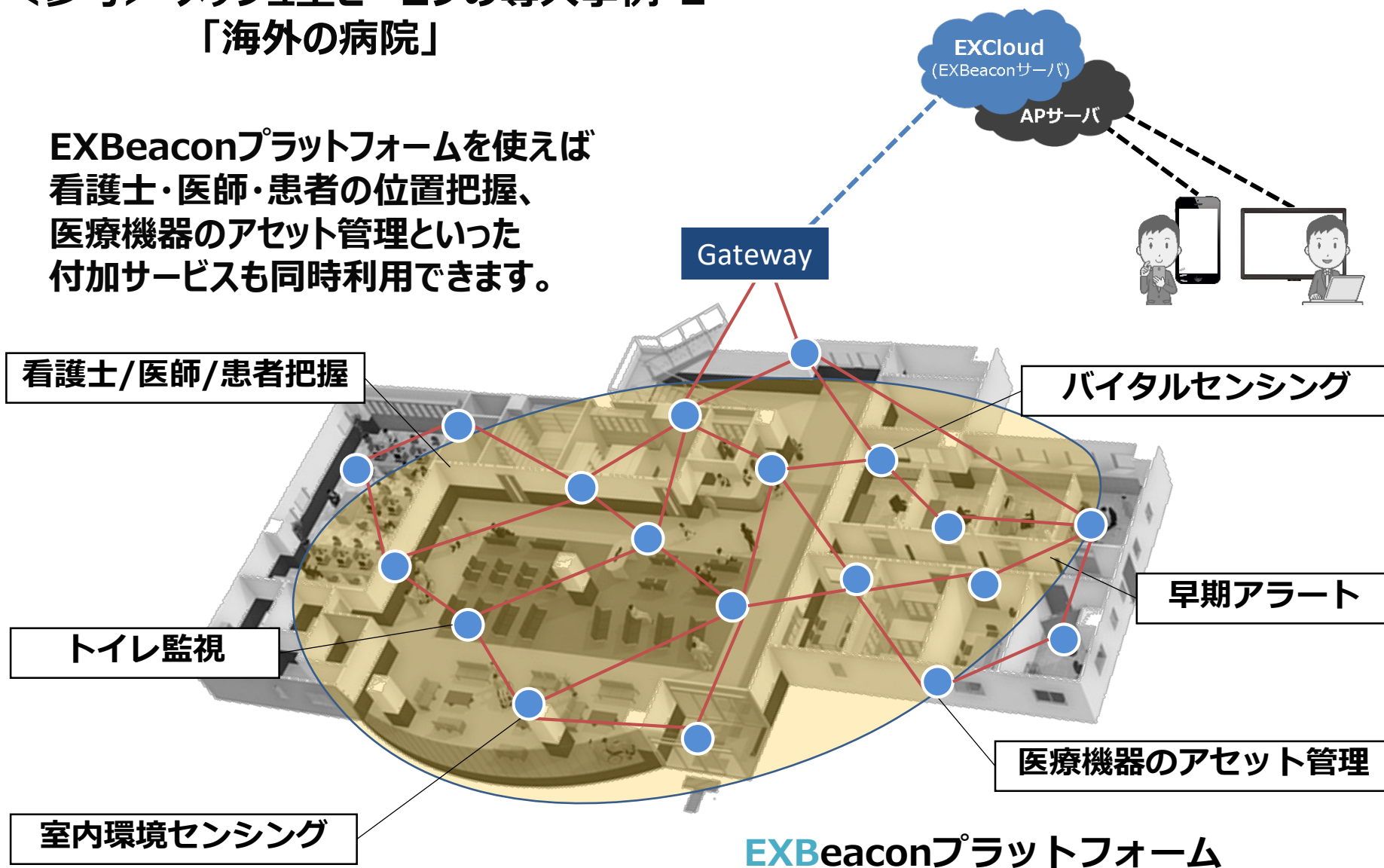
<参考> メッシュ型ビーコンの導入事例-1 「大手メーカーの製造工場」



2. 2018年度 3Q実績および通期計画

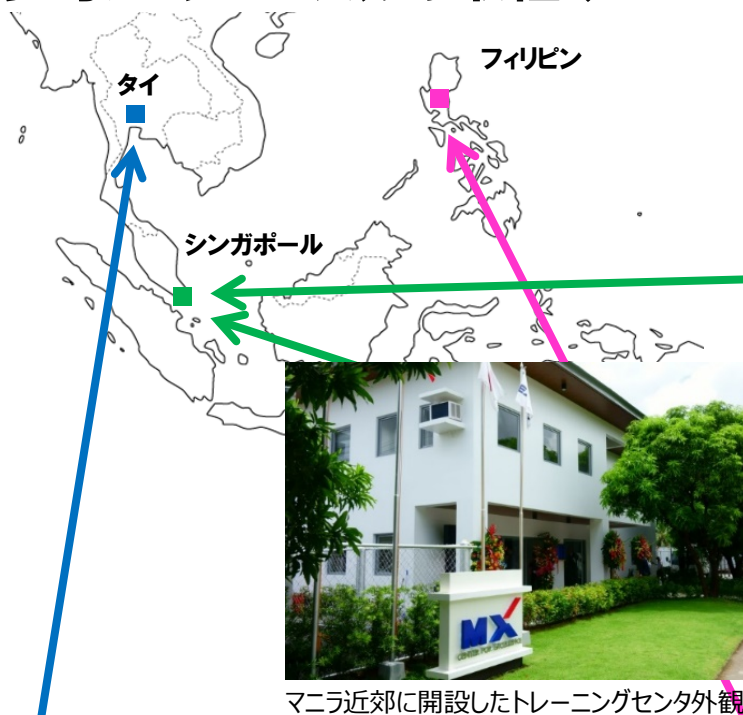
<参考> メッシュ型ビーコンの導入事例-2 「海外の病院」

EXBeaconプラットフォームを使えば
看護師・医師・患者の位置把握、
医療機器のアセット管理といった
付加サービスも同時利用できます。



2. 2018年度 3Q実績および通期計画

<参考> グローバルの取組み



東南アジアにおける
事業基盤を整備
・フィリピン ・タイ ・シンガポール



・空港ICT ・工業団地ICT
・データセンタICT
・高速道路通信 ・鉄道通信

2018年11月にシンガポールの電気・総合設備工事会社 LAEグループの全株式を取得

名 称	Leng Aik Engineering Pte.Ltd.
所 在 地	シンガポール
事 業 内 容	電気設備工事、総合設備工事
資 本 金	150万SGD
従 業 員 数	約260名
設 立 年 月 日	1999年9月6日

2018年11月にシンガポールに海外子会社の運営管理をする EXEO GLOBAL Pte.Ltd.を設立し、システムソリューション事業 をグローバルに展開するDeClout社の全株式を対象とした 株式公開買付けを実施中

名 称	DeClout Limited
所 在 地	シンガポール
事 業 内 容	ITインフラストラクチャの販売・サービスとクラウドサービス
資 本 金	114万SGD
従 業 員 数	約630名
設 立 年 月 日	2010年8月21日



2018年1月にタイに新合併会社 EXEO ASIA 設立

名 称	EXEO ASIA COMPANY LIMITED
所 在 地	タイ王国 バンコク
事 業 内 容	ICTソリューション、通信設備ならびにIP・インターネットにかかわる 企画、営業、設計、施工、開発、販売および保守業務
資 本 金	6百万 タイバーツ
設 立 年 月 日	2018年1月3日

MGエクシオ (フィリピン) では長年、通信キャリア工事を担う

・フィリピン国内で I C T 技術者育成 → アジア各国へ
・フィリピンでのグローバル人材育成 (1年間の現地ステイ&短期ステイ)
日本から研修生(当社社員)を2015年から継続的に派遣中

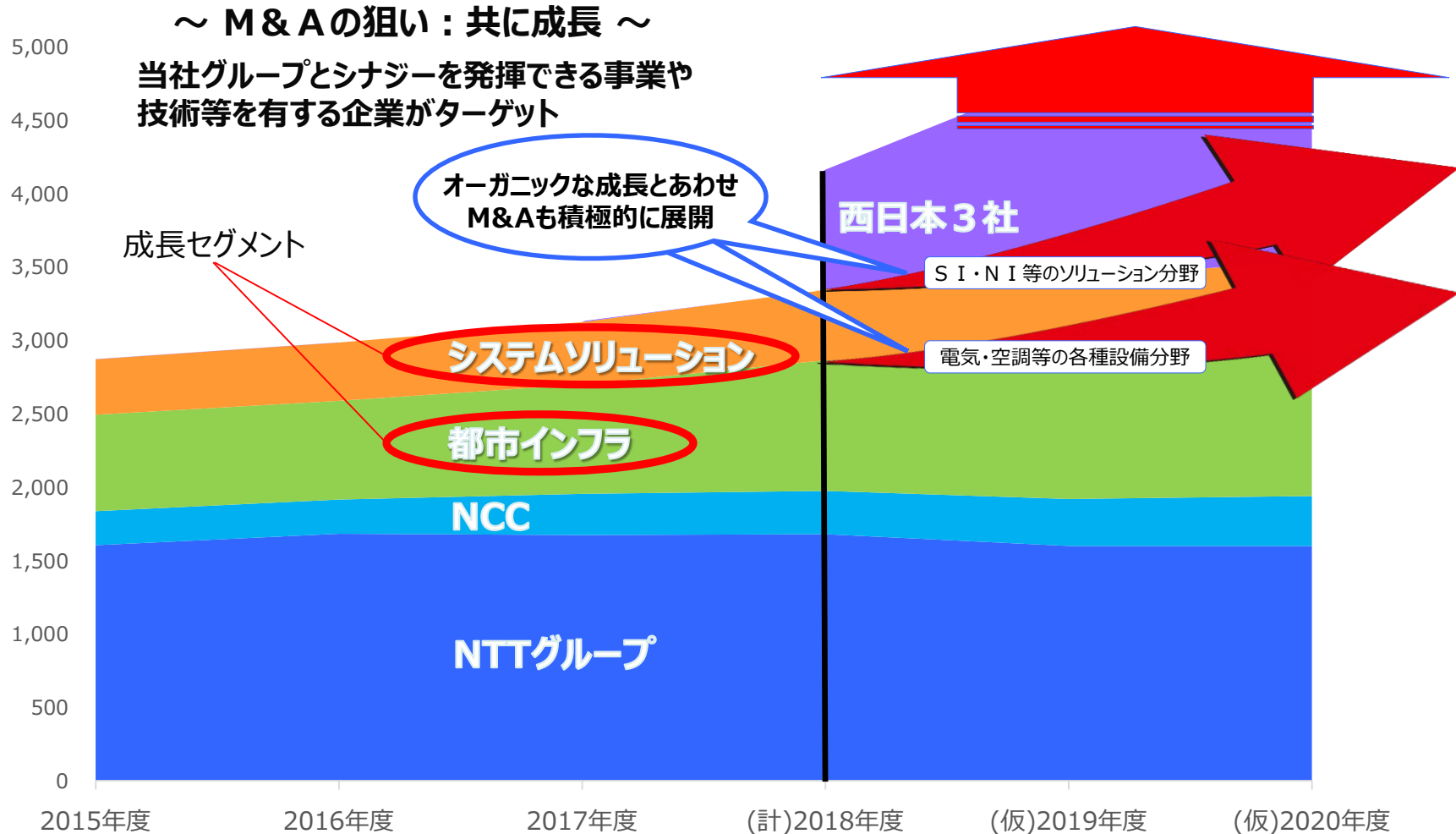
<お知らせ> 2017年4月にベトナムのACOM社と、同社が同国に設立するIBS事業新会社の株式購入契約を締結しておりましたが、その後ベトナムにおけるIBS事業環境に
変化があったことから、両者合意のもと2018年9月に株式購入契約の解約合意書を締結いたしました

3. M&A戦略

(1) 狙いと成長イメージ

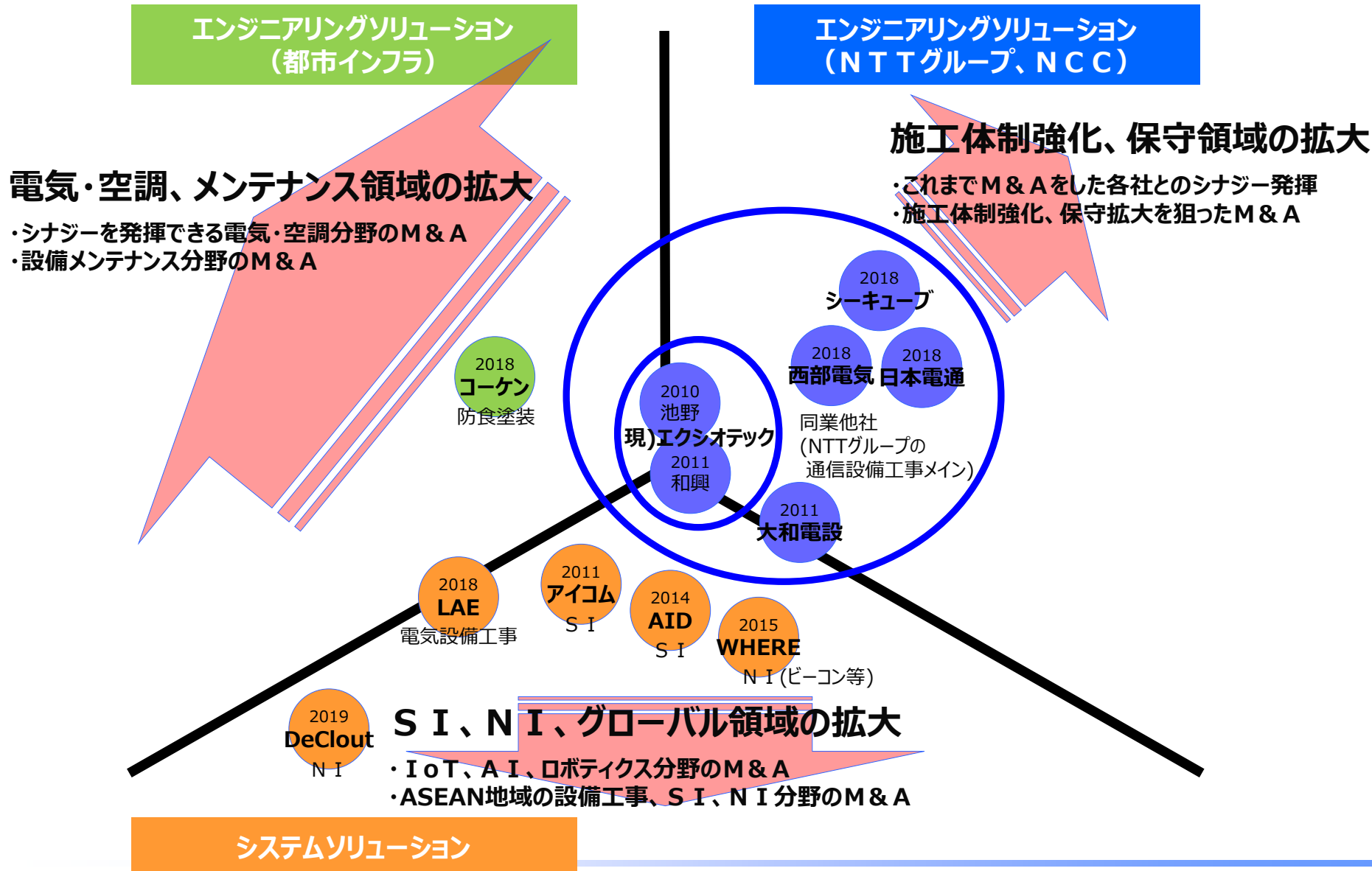
(単位：億円)

売上高5,000億円を目指し、更なる成長ステージへ



3. M&A戦略

(2) 事業領域別の展開イメージ



4. ESGの取り組み

(1) 主な取り組み

E 環境

- ・ CO₂排出量の低減 ⇒ 電力・ガソリン使用量の前年度比 1 %削減
- ・ グリーンエネルギーの利用、森林保護 ⇒ 太陽光発電事業、エクシオの森林など
- ・ グリーン調達の推進 ⇒ エコ製品購入率 70 %以上

～「エクシオの森林」活動～

当社は、創立50周年を契機に、地球温暖化防止と地域社会への貢献を強く意識し、現在全国5か所で地域の森林管理局と分収育林契約※を結んでいます。それぞれを「エクシオの森林」と名付け、国有林の保全と社員および家族の親睦を目的として活動しています

※伐採しないことを前提とした国有林の保全活動契約

当社株式は、「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」に採用されています
(2018年6月現在)



※DS : ダイバーシティ、WLB : ワーク・ライフ・バランス

S 社会

- ・ DS、WLB※の推進 ⇒ 女性新卒採用比率 25 %以上、総労働時間短縮など
- ・ 安全・品質の確保 ⇒ 重大事故 0 件/年、品質理念の徹底・継続教育など
- ・ 社会・地域への貢献 ⇒ 自然災害時の復旧・復興対応、地域清掃活動など

当社株式は、「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」に採用されています
(2018年6月現在)

G ガバナンス

- ・ コーポレートガバナンスの強化 ⇒ 内部統制委員会の開催、ガイドライン見直しなど
- ・ コンプライアンスの徹底 ⇒ 委員会・研修の開催、内部通報制度の利用促進など
- ・ リスクマネジメントの適切管理 ⇒ 業務プロセスリスクの特定、BCP強化など

5. 株主価値の向上

(1) 株主還元施策（期末配当予想の修正等）

- ◆ 2018年度配当からDOE3%目途から3.5%目途に引き上げ、株主還元を強化
- ◆ 期末配当予想を従来の32円から38円に修正（統合3社分の自己資本を加味）

■ 期末配当予想を38円に修正

修正
概要

2018年10月1日付でシーキューブ株式会社、西部電気工業株式会社、日本電通株式会社と経営統合したことから、3社の自己資本を加算しDOE3.5%に基づき再計算の上、期末配当予想を修正

2018年度 年間配当予想と 過去実績	項目	2014年度	2015年度 期末からDOE3%	2016年度 DOE3%	2017年度 DOE3%	2018年度予想	
						従来DOE3.5%	修正後DOE3.5%
	1株当たり年間配当	32円	38円	46円	50円	64円	70円
	年間配当総額	31.6億円	37.0億円	43.8億円	47.8億円	60.6億円	73.3億円
	配当性向	25.8%	30.2%	31.7%	26.4%	32.3%	※33.3%

※経営統合に伴う特別利益(負ののれん)を差し引いて計算

2018年度 年間配当予想 : 70円 (中間: 32円 / 期末: 38円)

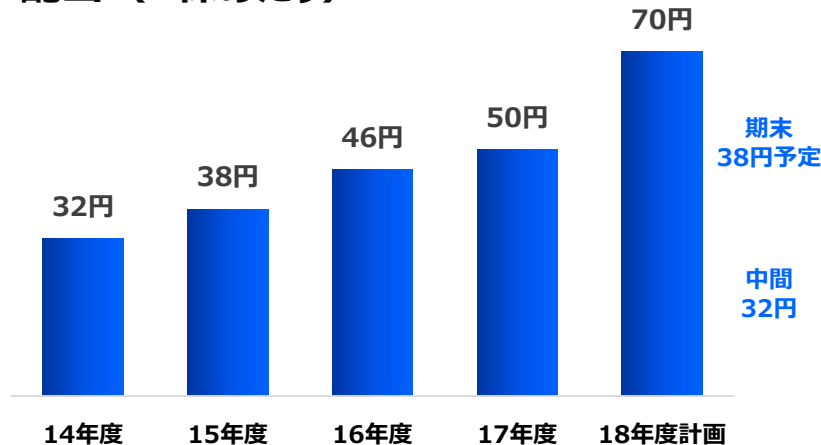
■ 2018年度上半期に実施した自己株式取得の概要

- | | |
|----------|-------------------------|
| ① 取得理由 | 機動的な資本政策の遂行および資本効率の向上 |
| ② 取得総額 | 2,999,734,683円 |
| ③ 取得株式総数 | 1,007,900株 |
| ④ 取得期間 | 2018年5月10日 ~ 2018年9月20日 |

5. 株主価値の向上

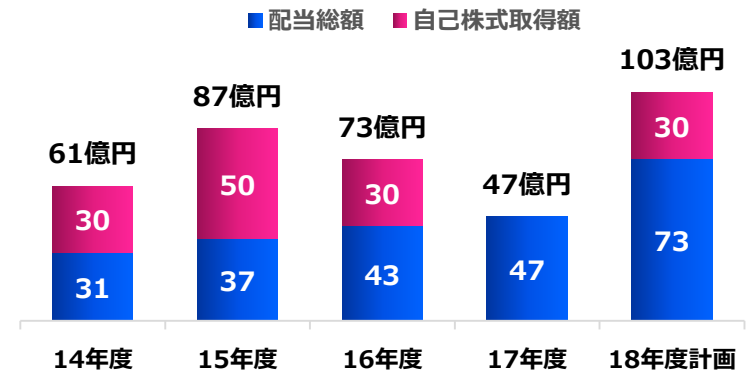
(2) 2018年度株主還元計画等

■ 配当（1株あたり）

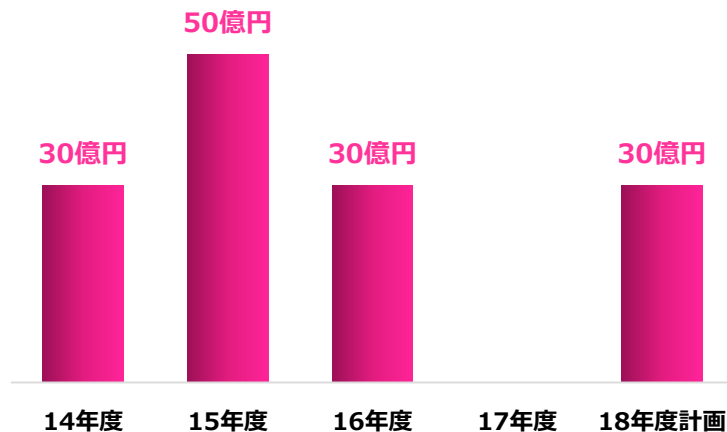


■ 総還元額（配当総額＋自己株式取得総額）

注）自己株式取得は機動的に実施

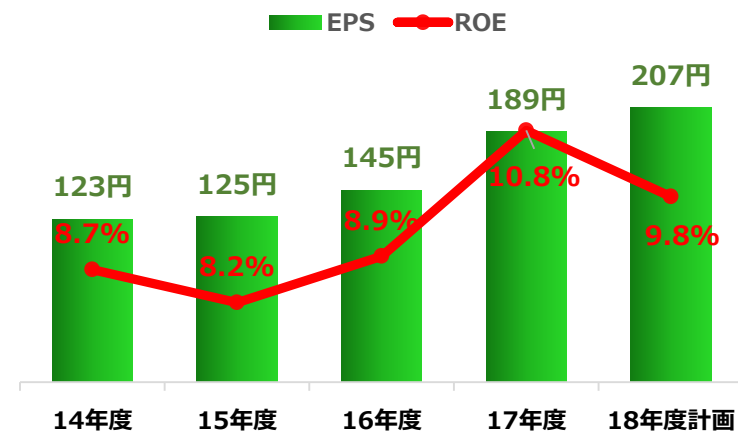


■ 自己株式取得



■ EPS、ROE

注）EPSとROEは経営統合に伴う特別利益(負ののれん)を差し引いて計算



1. 連結受注高・売上高・次期繰越高

(単位：億円)

			18.3期(17年度)		19.3期(18年度)				
			第3四半期 累計期間 A	通 期 B	第3四半期累計期間			通 期	
					実 績 C	前期比 C/A	対通期計画 進捗率 C/D	修正計画 (18年11月6日発表) D	前期比 D/B
受 注 高	エンジニア リング ソリューション	NTTグループ	1,270	1,662	1,356	107%	87%	1,855	112%
		NCC	240	318	278	115%	86%	375	118%
		都市インフラ	596	841	822	138%	85%	1,140	135%
		小 計	2,107	2,822	2,457	117%	86%	3,370	119%
	システムソリューション		316	427	457	145%	85%	780	182%
	合 計		2,424	3,250	2,915	120%	86%	4,150	128%
売 上 高	エンジニア リング ソリューション	NTTグループ	1,111	1,674	1,273	115%	76%	2,010	120%
		NCC	175	281	224	128%	76%	350	124%
		都市インフラ	400	745	573	143%	64%	1,105	148%
		小 計	1,687	2,701	2,072	123%	72%	3,465	128%
	システムソリューション		280	425	403	144%	83%	735	173%
	合 計		1,967	3,126	2,476	126%	74%	4,200	134%
次 期 繰 越 高	エンジニア リング ソリューション	NTTグループ	817	647	882	108%	-	-	-
		NCC	173	144	245	142%	-	-	-
		都市インフラ	797	696	1,050	132%	-	-	-
		小 計	1,787	1,488	2,178	122%	-	-	-
	システムソリューション		104	70	202	194%	-	-	-
	合 計		1,892	1,559	2,381	126%	-	-	-

注) 億円未満は切り捨てています

2. 主要子会社の業績概況

(単位：億円)

	18.3期(17年度) 第3四半期累計期間		19.3期(18年度) 第3四半期累計期間				
	エクシオテック	大和電設工業 グループ	エクシオテック	大和電設工業 グループ	シーキューブ グループ	西部電気工業 グループ	日本電通 グループ
受 注 高	152	117	186	133	156	128	81
売 上 高	125	95	147	107	149	134	77
売 上 総 利 益	(7.3%) 9.1	(10.0%) 9.5	(8.2%) 12.1	(10.2%) 11.0	(12.4%) 18.5	(9.2%) 12.3	(13.4%) 10.4
販 管 費	(6.6%) 8.3	(6.4%) 6.0	(5.5%) 8.0	(6.0%) 6.4	(7.2%) 10.7	(4.8%) 6.4	(11.6%) 9.0
営 業 利 益	(0.6%) 0.7	(3.7%) 3.5	(2.7%) 4.0	(4.2%) 4.5	(5.2%) 7.7	(4.4%) 5.9	(1.8%) 1.3
経 常 利 益	(1.0%) 1.2	(3.8%) 3.6	(3.2%) 4.6	(4.7%) 5.0	(5.8%) 8.6	(5.2%) 7.0	(2.1%) 1.6
四 半 期 純 利 益	(0.7%) 0.8	(2.6%) 2.4	(2.5%) 3.7	(3.1%) 3.2	(3.6%) 5.3	(3.5%) 4.7	(1.0%) 0.7

注1) 億円未満(一部は千万未満)は切り捨てています

注2) () 内は売上高に対する割合です

「参考」主要子会社の3Q累計業績概況

西日本主要子会社3社とは2018年10月1日付で経営統合しましたが、各社業績の対前年度比較のため、経営統合前の期間も含めて記載しています
 なお、連結グループ内における他グループとの取引は、相殺消去していません

(単位：億円)

	18.3期(17年度) 第3四半期累計期間				19.3期(18年度) 第3四半期累計期間				
	シーキューブ グループ	西部電気工業 グループ	日本電通 グループ	単純合計 A	シーキューブ グループ	西部電気工業 グループ	日本電通 グループ	単純合計 B	前期比 B/A
受 注 高	430	392	288	1,111	464	421	245	1,131	102%
売 上 高	400	367	258	1,025	438	364	232	1,034	101%
売 上 総 利 益	(11.7%) 46.7	(8.1%) 29.7	(12.9%) 33.2	(10.7%) 109.7	(11.8%) 51.7	(8.0%) 29.1	(14.6%) 33.8	(11.1%) 114.7	105%
販 管 費	(7.5%) 30.0	(5.4%) 19.7	(10.8%) 27.8	(7.6%) 77.5	(7.5%) 32.9	(5.4%) 19.6	(11.6%) 26.8	(7.7%) 79.4	102%
営 業 利 益	(4.2%) 16.6	(2.7%) 10.0	(2.1%) 5.3	(3.1%) 32.1	(4.3%) 18.8	(2.6%) 9.5	(3.0%) 7.0	(3.4%) 35.3	110%
経 常 利 益	(4.6%) 18.2	(3.4%) 12.4	(2.6%) 6.6	(3.6%) 37.3	(4.8%) 20.8	(3.3%) 12.1	(3.5%) 8.2	(4.0%) 41.2	111%
四 半 期 純 利 益	(2.7%) 10.7	(1.8%) 6.4	(1.5%) 3.7	(2.0%) 21.0	(2.8%) 12.2	(2.0%) 7.4	(2.2%) 5.0	(2.4%) 24.7	118%

注1) 億円未満(一部は千万未満)は切り捨てています

注2) () 内は売上高に対する割合です

3. 単独の業績概況

(単位：億円)

	18.3期(17年度)		19.3期(18年度)				
	第3四半期 累計期間 A	通 期 B	第3四半期累計期間			通 期	
			実 績 C	前期比 C/A	対通期計画 進捗率 C/D	計 画 D	前期比 D/B
受 注 高	2,009	2,685	2,102	105%	72%	2,900	108%
売 上 高	1,609	2,568	1,742	108%	63%	2,770	108%
売 上 総 利 益	(10.2%) 163	(10.8%) 276	(10.6%) 184	113%	61%	(10.8%) 300	108%
販 管 費	(5.6%) 89	(4.9%) 125	(5.6%) 97	109%	72%	(4.9%) 135	108%
営 業 利 益	(4.6%) 74	(5.9%) 151	(5.0%) 87	118%	53%	(6.0%) 165	109%
経 常 利 益	(7.3%) 117	(7.6%) 194	(9.5%) 165	141%	68%	(8.7%) 242	125%
四半期(当期)純利益	(5.6%) 90	(5.7%) 146	(8.1%) 140	155%	75%	(6.8%) 188	129%

注1) 億円未満は切り捨てています

注2) () 内は売上高に対する割合です

4. 単独の受注高・売上高・次期繰越高

(単位：億円)

				18.3期(17年度)		19.3期(18年度)				
				第3四半期 累計期間 A	通 期 B	第3四半期累計期間			通 期	
						実 績 C	前期比 C/A	対通期計画 進捗率 C/D	計 画 D	前期比 D/B
受 注 高	エンジニア リング ソリューション	NTT グループ	アクセス	535	724	552	103%	79%	700	97%
			ネットワーク	149	202	163	110%	82%	200	99%
			モバイル	430	527	314	73%	64%	490	93%
			小 計	1,115	1,454	1,030	92%	74%	1,390	96%
		NCC		234	309	243	104%	78%	310	100%
		都市インフラ		483	688	623	129%	75%	830	121%
		小 計		1,833	2,451	1,897	103%	75%	2,530	103%
	システムソリューション			176	233	204	116%	55%	370	158%
	合 計			2,009	2,685	2,102	105%	72%	2,900	108%
売 上 高	エンジニア リング ソリューション	NTT グループ	アクセス	493	735	518	105%	70%	740	101%
			ネットワーク	137	215	124	90%	54%	230	107%
			モバイル	340	515	326	96%	63%	520	101%
			小 計	971	1,466	968	100%	65%	1,490	102%
		NCC		169	271	193	114%	69%	280	103%
		都市インフラ		315	596	415	132%	58%	720	121%
		小 計		1,456	2,334	1,577	108%	63%	2,490	107%
	システムソリューション			152	234	165	108%	59%	280	120%
	合 計			1,609	2,568	1,742	108%	63%	2,770	108%
次 期 繰 越 高	エンジニア リング ソリューション	NTT グループ	アクセス	230	176	211	92%	-	-	-
			ネットワーク	103	79	119	115%	-	-	-
			モバイル	418	339	327	78%	-	-	-
			小 計	752	596	658	87%	-	-	-
		NCC		167	140	190	114%	-	-	-
		都市インフラ		713	637	845	118%	-	-	-
		小 計		1,634	1,374	1,694	104%	-	-	-
	システムソリューション			72	49	88	121%	-	-	-
	合 計			1,707	1,423	1,783	104%	-	-	-

注) 億円未満は切り捨てています

見通しに関する注記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

【お問合せ先】

経営企画部 I R 担当

今井、三嶋

T E L 03-5778-1073

U R L <http://www.exeo.co.jp>

当社ホームページに各種 I R 資料を掲載しております。
ご利用ください。